

「路地」と「小路」の銘板取り付け～防災まちづくりにおける支援活動

(一社) 京都府建築士会青年部会 発表者：寛下隆司

ワークショップ 「もっと教えて！」

「路地」と「小路」の銘板取り付け
～防災まちづくり見える化プロジェクト～

活動に至った経緯

京都府建築士会青年部会は京都市東山区の六原学区で活動する地域住民主体のまちづくり組織「六原まちづくり委員会」に対して、平成 23 年度より専門家の立場で空き家対策や細路の多い密集市街地の防災性向上に向けたさまざまな取り組みを支援している。今回発表する「路地」と「小路」の銘板取り付けは平成 27 年度の支援事業であるが、それ以外にも平成 24 年度以降、防災まちづくりの観点から以下の具体的な活動を支援し続けている。

主な支援活動履歴

- ・防災まちづくり定例会議への継続参加
- ・防災まちあるき、防災まちづくりマップ制作の支援
- ・地域イベントにおける耐震セミナーの開催、行政事業の耐震ローラー作戦への協力、ワークショップなどの共催
- ・行き止まり路地の2方向避難確保に向けた緊急避難扉の着工設計と設置工事支援
- ・行き止まり路地(トンネル路地)入口部の耐震補強と防火改修



名前の無かった路地に地域住民が親しみをもてる名称が付き、しかも地域の防災性が向上した

六原学区では幅員 4.0m 未満の道と路地が地区内道路総延長の 84% を占めている。また、行き止まりの路地も 80 本と学区全体の道の本数の 37% を占めている。これまで、これらの路地には名称がなかったため、日頃から原場所を第三者に伝達するのが困難であった。もちろん、災害時や火事などの有事においても大きな問題となることが予想されていた。

平成 27 年度の防災まちづくりの取り組みでは、行き止まりの路地を「路地」とし、通り抜けることができる災害時 2 方向避難が可能な路地を「小路」と区別し、地域住民による路地と小路の命名プロセスを支援した。また、地域の海苔家が制作した銘板の取付作業も支援した。

当初は災害時の安全性を念頭に計画がスタートしたが、地域住民からは「宅配業者に場所を伝えやすくなった」、消防署からは「自分たちの活動にも便利なので、早く路地名のマップを渡して欲しい」との声が寄せられている。既に近隣の地域でも同じようなことをしたいとの声があり、感地や細路路が残る都市圏はもとより古いまちが残る各地の旧市街地でも応用可能な取り組みと考える。(京都市防災に関する見える化プロジェクト助成金を使用)



建築士会の役割と今後の展開

過去 5 年以上にわたり地域住民や行政、コンサルタントなどの連携体制のもとさまざまな取り組みを支援してきたが、地域と一緒に目に見える課題をどのようにクリアするかを考えると、建築士の立場でできることを幅広く実践している。地域とともに「永く、粘り強く」そして「持続できる無理のない」体制を築いていくこと、そしてあくまでも主役は地域であることを念頭に、今後も地域に寄り添える関係を継続していきたいと考える。



近畿ブロック・京都府建築士会青年部会
「路地」と「小路」の銘板取り付け～防災まちづくり・見える化プロジェクト～

【参加者からの質問】

1. 市内11か所の内関わっているのは六原のみですか？
2. 六原は意識が高いからこの取り組みが実現したのですか？
3. 市役所（行政）と深く関わるにはどうしたらよいか？
4. 銘板について予備など追加作成できる仕組みはありますか？
5. 他の地区にも関わっていく予定は？
6. 一般地図などにも反映されるような周知活動は行っていますか？
7. 本当の住所は？消防は独自に理解できるものがあるのでは？
8. 路地名の付け方は？

【発表者からの回答】

1. 他地域にも部分的に関わっているが、青年部では六原がメインとしている
2. 地域のネットワークが残っていて、少子高齢化が進んでおり危機感を持っている地域
3. 市の指針に「共汗」という言葉があり、積極的に関わっていただける体制がある
4. 多少の予備は用意してある また5年に一度の見直しを含め予算計画を立ててある
5. 重点地区11か所選ばれていて、積極的に関わっているのは六原のみ
6. 区長への認識・消防のシステムへの組込は進めているが、対外的には予定はない
7. 4M以下の道には名前がない 消防にはランドマークが増えると歓迎されている
8. 町内会で候補を挙げてもらい商標登録等法的に問題なければ決定

ワークショップ 「何がよかった？」 「もっと良くするにはどうする？」

【良かったところ】

1. 防災性の向上
2. 行政との連携
3. 銘板の更新も計画している
4. 地域の人と一体とした活動

【もっと良くするアドバイス】

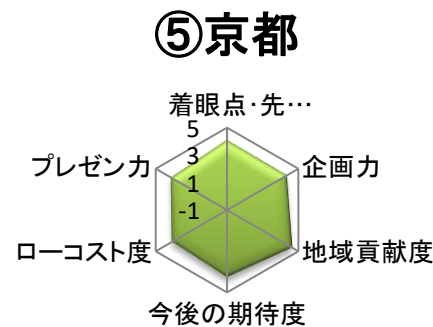
1. 他の地域にも活動を広げていってはどうか？
2. カーナビへ表示するなどもっと広く使われるようしていってはどうか？

アワード

バランスレーダーチャート

アンケート 「あなたの活動の明日へのヒント。何か見つかった？」

最優秀賞



- ◇アイデアが目からウロコ！ぜひ地元を持ち帰りたい内容だった
- ◇盛岡にも旧町名があるので残していきたい
- ◇道のカatalogが面白そう
- ◇防災について自身の住地域の状況を理解する必要があると感じる
- ◇地域の皆さんに寄り添って長いスパンで関わってください このまま進めて下さい